

2027年3月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社高松コンストラクショングループ

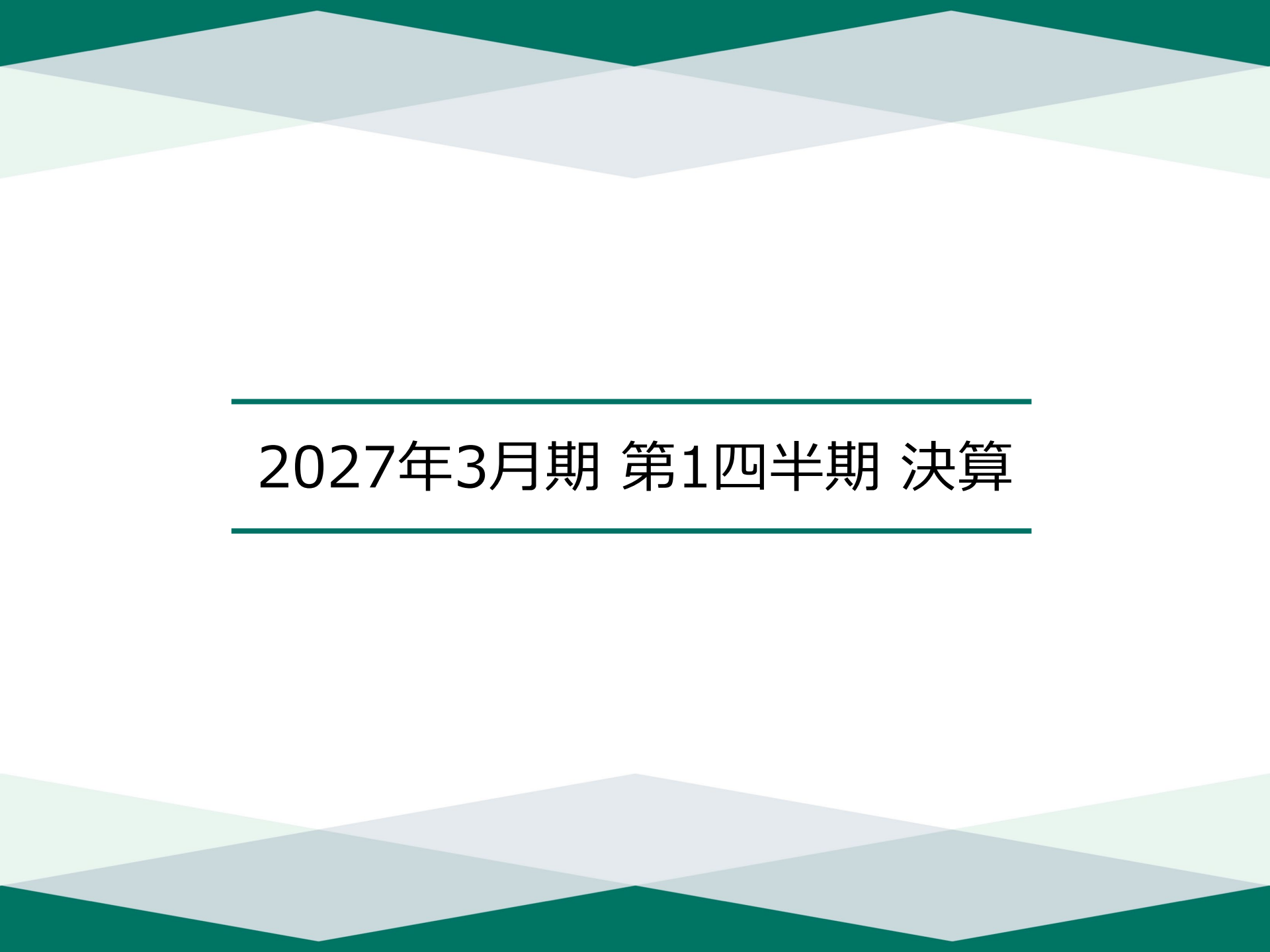
証券コード：1762

2026年8月5日

つながる力を、創り出す力に。



1. 2027年3月期 第1四半期決算	2
2. 2027年3月期 業績予想・配当予想	19
3. トピックス	25



2027年3月期 第1四半期 決算

土木	建築	不動産	主要営業エリア
	高松建設		東京・大阪・名古屋
	高松テクノサービス		大阪・東京
		高松エステート	大阪・東京
	住之江工芸		国内（全国）
	金剛組		大阪・東京
	中村社寺		名古屋
	タカマツビルド		東京・神奈川
	大昭工業		大阪
		Takamatsu Philippine Corporation	フィリピン
青木あすなろ建設			国内（全国）
島田組			国内（全国）
みらい建設工業			国内（全国）
青木マリーン			国内（全国）
	エムズ		首都圏
東興ジオテック			国内（全国）
		タカマツハウス	東京・神奈川・埼玉
		タカマツハウス不動産	東京・神奈川
		タカマツハウス関西	大阪・兵庫
		高松都市開発	東京・大阪
		高松CG USA	アメリカ
高松コンストラクショングループ（純粋持株会社）			

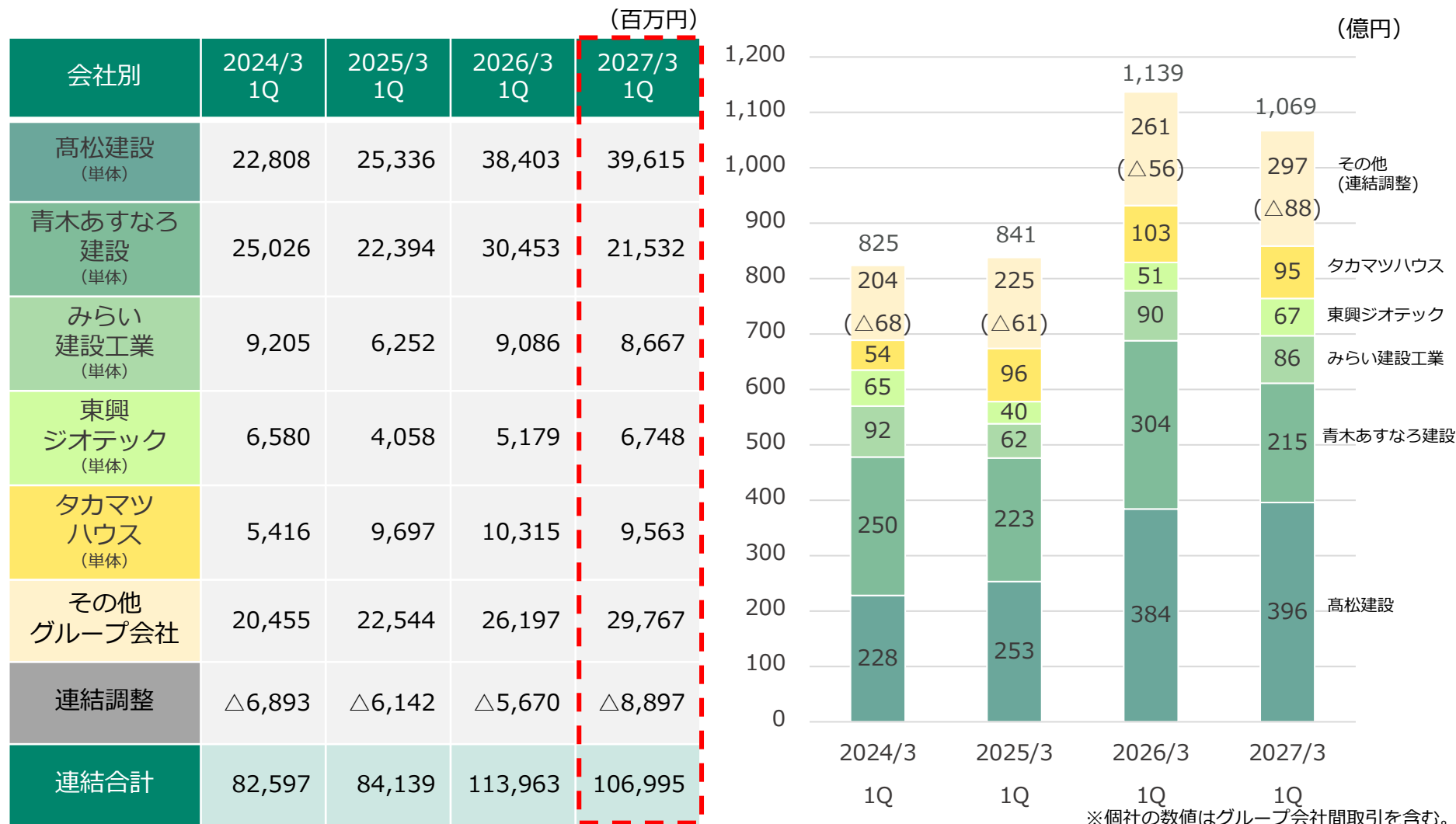
2027年3月期 第1四半期 業績推移

◆ 受注高以外のすべての項目で前年同期比増となり、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益は第1四半期として過去最高。四半期純利益は32億円となった。(億円)

項目	2024/3期 1Q	2025/3期 1Q	2026/3期 1Q	2027/3期 1Q	増減率
受注高	825	841	1,139	 1,069	△6.1%
売上高	656	781	790	 884	+11.8%
売上総利益	88	91	110	 149	+35.2%
売上総利益率	13.5%	11.7%	14.0%	 16.9%	+2.9pt
営業利益	8	9	19	 54	+173.4%
営業利益率	1.2%	1.3%	2.5%	 6.2%	+3.7pt
経常利益	9	9	18	 53	+185.0%
経常利益率	1.5%	1.3%	2.4%	 6.0%	+3.6pt
親会社株主帰属 四半期純利益	△1	1	8	 32	+309.4%
四半期純利益率	△0.2%	0.2%	1.0%	 3.7%	+2.7pt

中核事業会社別 受注高

- ◆ 高松建設は前年同期比+3.2%。青木あすなろ建設は好調だった前年同期と比較すると減少し前年同期比△29.3%。
みらい建設工業は前年同期比△4.6%。東興ジオテックは案件の大型化や追加工事獲得により前年同期比+30.3%。
タカマツハウスは前年同期比△7.3%。その他中核5社以外のグループ会社は前年同期比+13.6%。



- ◆ 共同住宅は、大阪で前年同期比82億円増加、東京で前年同期比24億円増加し、高松建設全体で前年同期比107億円増加した。
- ◆ 一般建築は、大阪で前年同期比23億円増加したものの東京で前年同期比123億円減少し、高松建設全体で前年同期比99億円減少した。

セグメント別 受注高

(百万円)

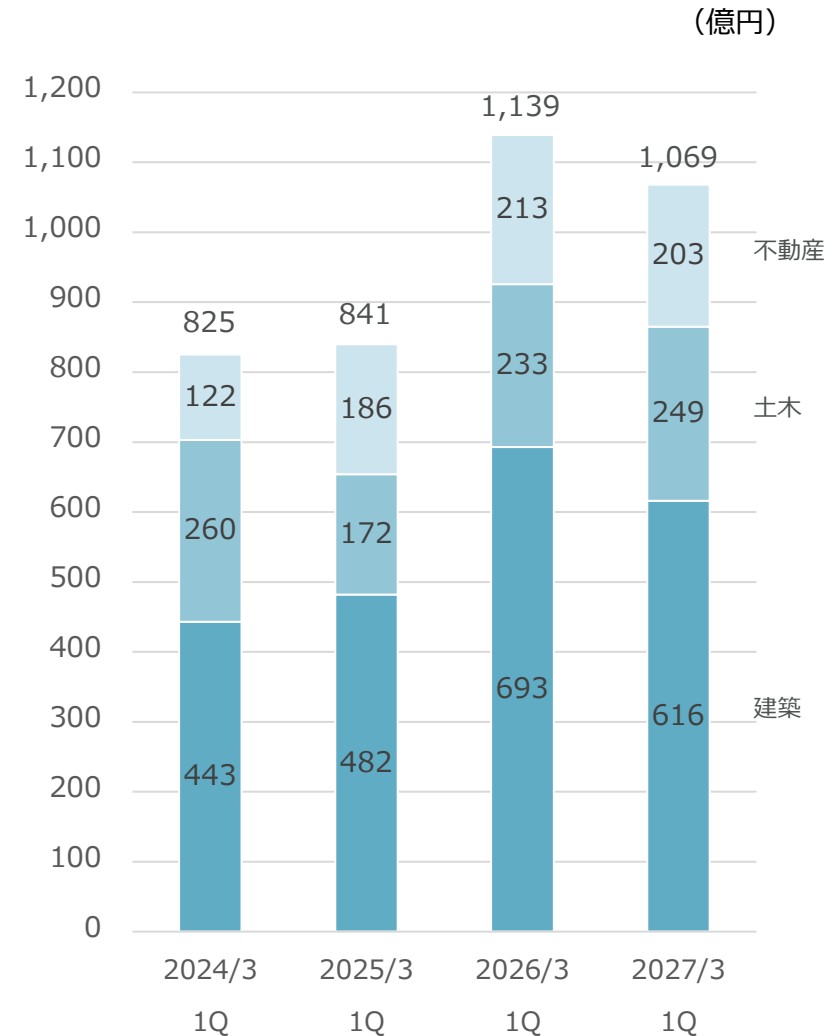
		大阪				東京			
		2026/3 1Q	構成比	2027/3 1Q	構成比	2026/3 1Q	構成比	2027/3 1Q	構成比
建 築	共同住宅	4,178	34.7%	12,446	54.8%	8,302	31.5%	10,795	63.8%
	一般建築	7,843	65.0%	10,208	45.0%	16,950	64.4%	4,636	27.4%
不動産		40	0.3%	48	0.2%	1,090	4.1%	1,482	8.8%
合計		12,061	100%	22,702	100%	26,342	100%	16,913	100%

※数値はグループ会社間取引を含む。構成比は小数点以下第二位四捨五入。

セグメント別 受注高

- ◆ 建築は高松建設で増加も青木あすなろ建設で減少し前年同期比△11.0%。土木は前年同期比+7.1%。
不動産は前年同期比△4.6%。

セグメント別	2024/3 1Q	2025/3 1Q	2026/3 1Q	2027/3 1Q
建築	44,369	48,255	69,308	61,657
土木	26,003	17,255	23,301	24,966
不動産	12,224	18,628	21,353	20,371
連結合計	82,597	84,139	113,963	106,995



中核事業会社別 次期繰越高

- ◆ 高松建設は受注高・売上高ともに増加し前年同期比+11.3%。青木あすなる建設は受注高は減少し売上高は増加したものの、前期からの繰越高が大幅に増加したことから前年同期比+16.5%。みらい建設工業も青木あすなる建設と同様の要因により前年同期比+23.2%。東興ジオテックは受注高の増加および売上高の減少により前年同期比+5.6%。タカマツハウスも青木あすなる建設、みらい建設工業と同様の要因により前年同期比+20.4%。その他中核5社以外のグループ会社は高松テクノサービス等で増加し前年同期比+25.9%。連結調整は主に前期におこなわれた高松建設と高松都市開発の分譲事業移管の影響から大幅増。(百万円)

会社別		2026/3 1Q	2027/3 1Q	増減額	増減率
高松建設 (単体)		243,436	270,897	↑ 27,461	+11.3%
青木あすなる建設 (単体)	建築	130,776	152,581	↑ 21,805	+16.7%
	土木	55,615	64,529	↑ 8,914	+16.0%
	合計	186,391	217,110	↑ 30,719	+16.5%
みらい建設工業 (単体)		43,339	53,376	↑ 10,037	+23.2%
東興ジオテック (単体)		13,740	14,512	↑ 772	+5.6%
タカマツハウス (単体)		6,627	7,979	↑ 1,352	+20.4%
その他グループ会社		24,106	30,345	↑ 6,239	+25.9%
連結調整		△1,679	△16,172	△14,493	—
連結合計		515,960	578,047	↑ 62,086	+12.0%

※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

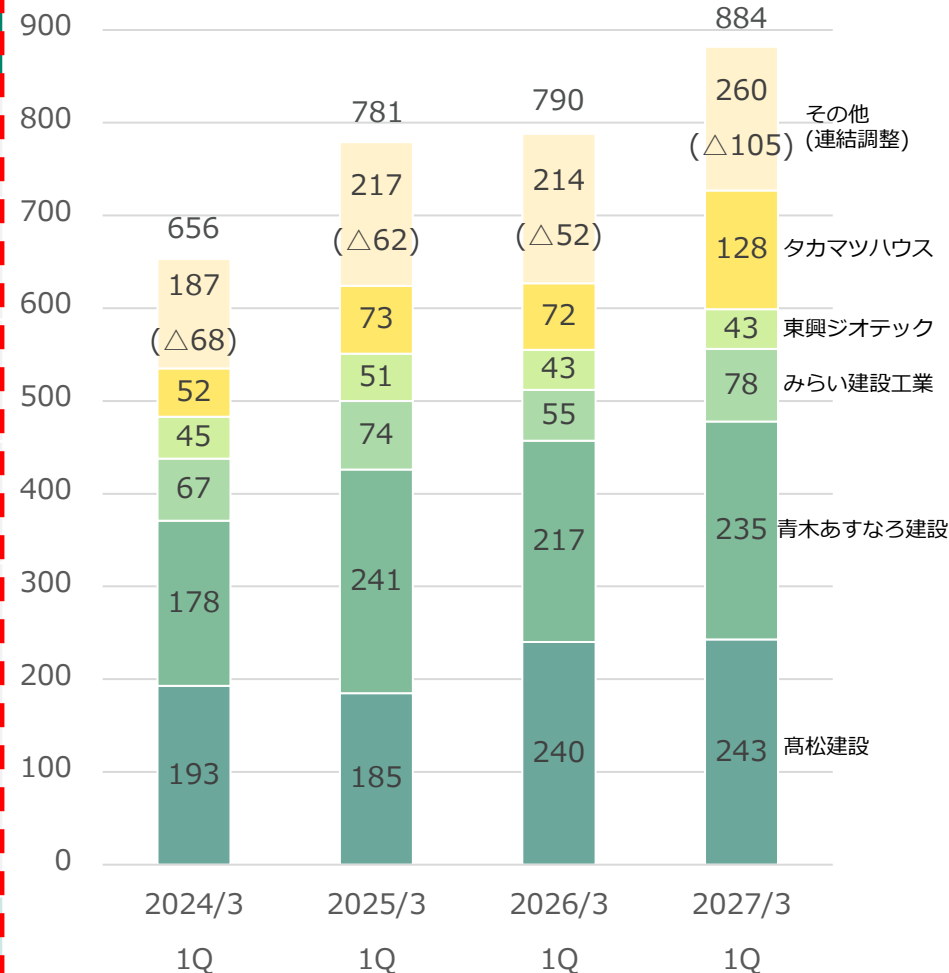
中核事業会社別 売上高

- ◆ 高松建設は前年同期比+1.3%。青木あすなろ建設は前年同期比+8.0%。みらい建設工業は不調だった前年同期と比較すると増加し前年同期比+42.7%。東興ジオテックは前年同期比△1.1%。タカマツハウスは都心部における好立地案件の仕入により販売単価が上昇し、販売も好調であったことから前年同期比+78.0%と大幅増。その他中核5社以外のグループ会社は前年同期比+21.9%。

(百万円)

(億円)

会社別	2024/3 1Q	2025/3 1Q	2026/3 1Q	2027/3 1Q
高松建設 (単体)	19,397	18,562	24,018	24,321
青木あすなろ 建設 (単体)	17,811	24,125	21,772	23,512
みらい 建設工業 (単体)	6,750	7,440	5,504	7,856
東興 ジオテック (単体)	4,564	5,138	4,395	4,346
タカマツ ハウス (単体)	5,227	7,309	7,219	12,850
その他 グループ会社	18,753	21,771	21,408	26,086
連結調整	△6,889	△6,215	△5,235	△10,522
連結合計	65,613	78,130	79,081	88,449



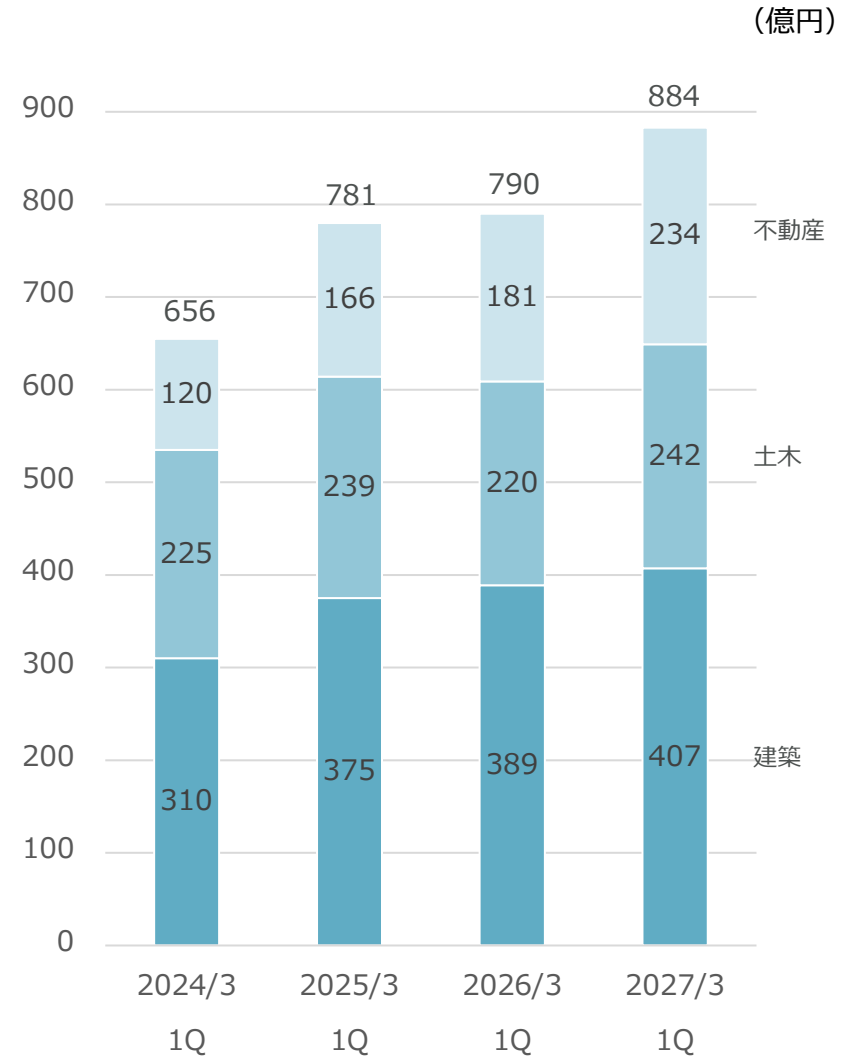
※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

セグメント別 売上高

- ◆ 建築は前年同期比+4.7%。土木はみらい建設工業で増加し前年同期比+10.2%。不動産はタカマツハウスで増加し前年同期比+29.2%。

セグメント別	2024/3 1Q	2025/3 1Q	2026/3 1Q	2027/3 1Q
建築	31,064	37,550	38,922	40,750
土木	22,513	23,955	22,037	24,288
不動産	12,035	16,624	18,120	23,410
連結合計	65,613	78,130	79,081	88,449

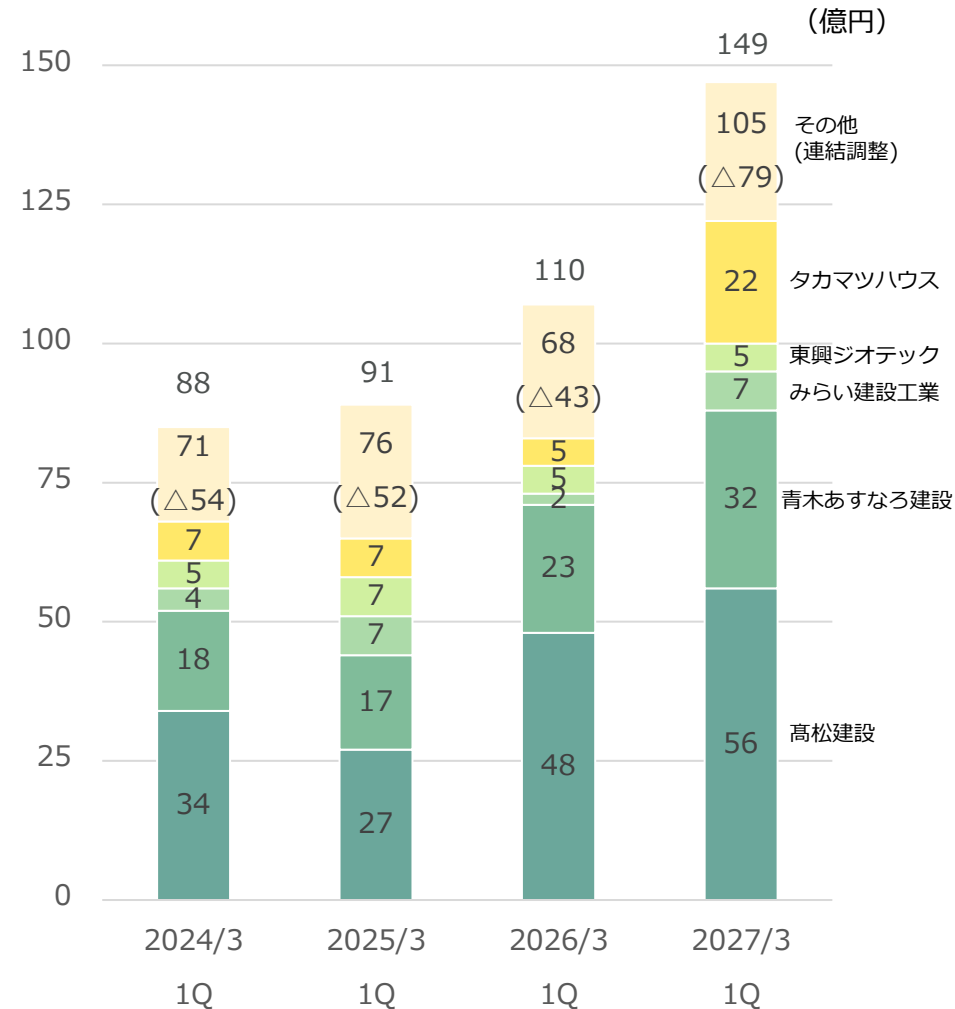
(百万円)



中核事業会社別 売上総利益

- ◆ 高松建設は売上高の増加および売上総利益率の上昇により前年同期比+15.8%。青木あすなろ建設は売上高の増加と主に土木で売上総利益率が上昇したことにより前年同期比+36.3%と大幅増。みらい建設工業は売上高の増加および売上総利益率の上昇により、不調だった前年同期と比較し2.7倍と大幅増。東興ジオテックは前年同期比△4.5%。タカマツハウスは在庫調整局面であった前年同期と比較し採算のいい案件の売上高が増加し、前年同期比4.2倍と大幅増。その他中核5社以外のグループ会社は前年同期比+54.3%。
(百万円)

会社別	2024/3 1Q	2025/3 1Q	2026/3 1Q	2027/3 1Q
高松建設 (単体)	3,483	2,795	4,849	5,615
青木あすなろ 建設 (単体)	1,830	1,783	2,394	3,264
みらい 建設工業 (単体)	478	719	266	725
東興 ジオテック (単体)	575	703	582	556
タカマツ ハウス (単体)	758	754	522	2,239
その他 グループ会社	7,151	7,617	6,807	10,501
連結調整	△5,423	△5,213	△4,388	△7,988
連結合計	8,852	9,158	11,032	14,912



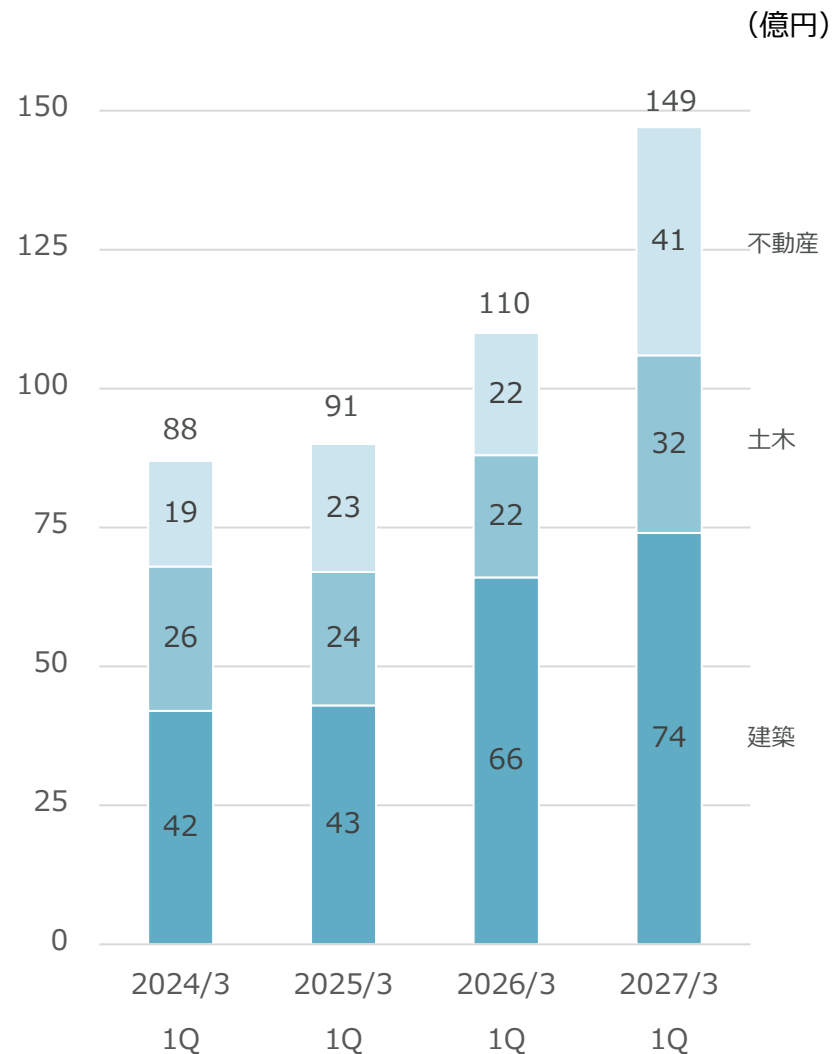
※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

セグメント別 売上総利益

◆ 建築は高松建設、青木あすなろ建設で増加し前年同期比+12.9%。土木は青木あすなろ建設、みらい建設工業で増加し前年同期比+49.1%と大幅増。不動産はタカマツハウスで増加し前年同期比+88.0%と大幅増。

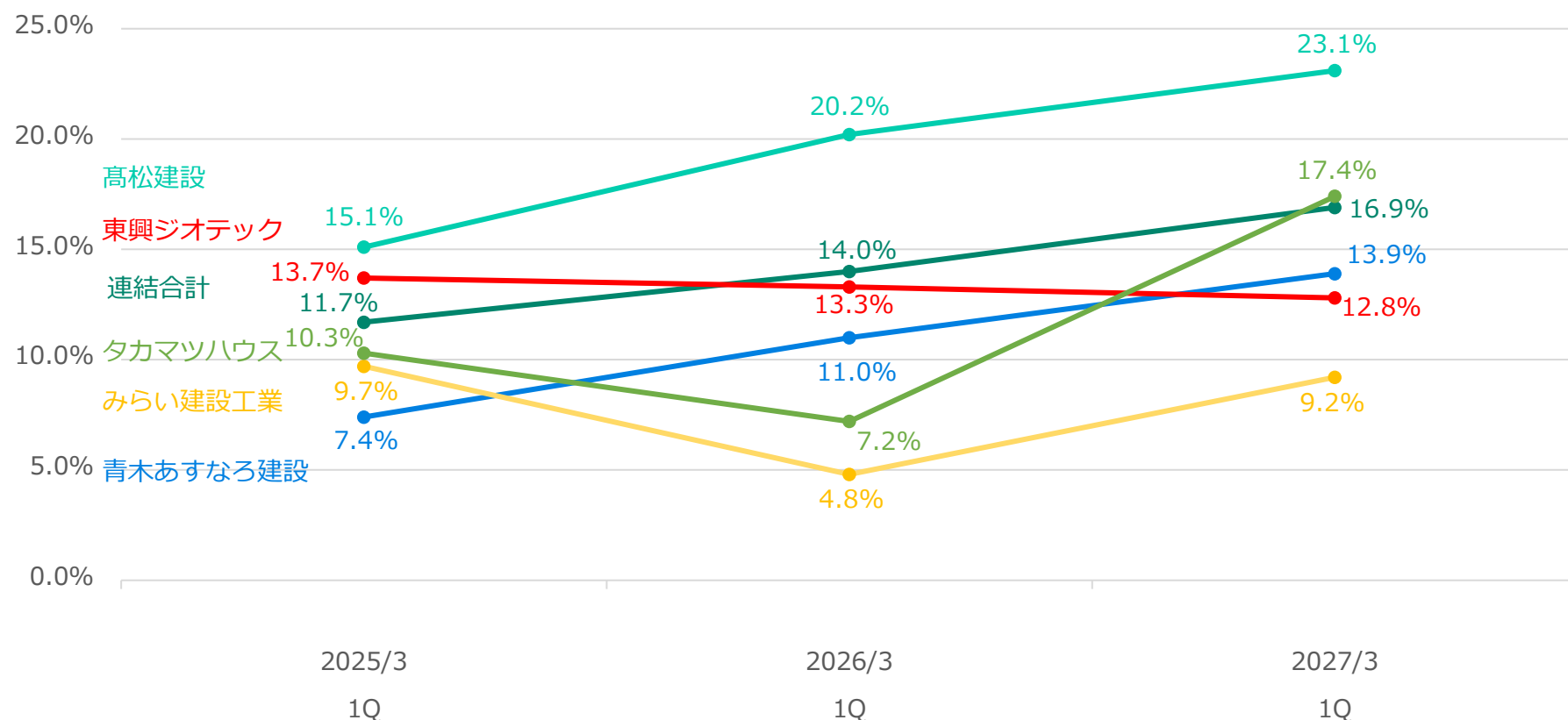
セグメント別	2024/3 1Q	2025/3 1Q	2026/3 1Q	2027/3 1Q
建築	4,280	4,361	6,615	7,468
土木	2,644	2,408	2,210	3,295
不動産	1,927	2,388	2,206	4,147
連結合計	8,852	9,158	11,032	14,912

(百万円)



連結合計と中核5社の売上総利益率

- ◆ 高松建設は主に売上総利益額の増加により前年同期比+2.9ptと大幅に上昇。
- ◆ 青木あすなろ建設は売上高および売上総利益額の増加により前年同期比+2.9ptと大幅に上昇。
- ◆ みらい建設工業は売上高および売上総利益額が増加。前年同期の不調から回復し前年同期比+4.4ptと大幅に上昇。
- ◆ 東興ジオテックは前年同期比△0.5pt。
- ◆ タカマツハウスは売上高および売上総利益額の大幅な増加により前年同期比+10.2ptと大幅に上昇。
- ◆ 連結合計は前年同期比+2.9ptとなった。



※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

中核事業会社別 営業利益

- ◆ 高松建設は売上総利益率の上昇、販管費の減少により前年同期比+59.0%と大幅増。青木あすなろ建設は売上総利益率の上昇、販管費の減少により前年同期比2.4倍の大幅増。みらい建設工業は前年同期の不調から回復し1.4億円の営業黒字となった。東興ジオテックは売上総利益率の低下、販管費の増加により92百万円の営業赤字となった。タカマツハウスは売上総利益率の大幅な上昇により15億円の営業黒字となった。その他中核5社以外のグループ会社は主に当社高松コンストラクショングループでグループ会社からの配当金が増加し前年同期比+67.4%

(百万円)

会社別	2024/3 1Q	2025/3 1Q	2026/3 1Q	2027/3 1Q
高松建設 (単体)	445	△309	1,549	2,463
青木あすなろ 建設 (単体)	286	220	676	1,667
みらい 建設工業 (単体)	△32	178	△335	140
東興 ジオテック (単体)	92	162	△4	△92
タカマツ ハウス (単体)	308	196	△68	1,537
その他 グループ会社	5,293	5,772	4,653	7,791
連結調整	△5,585	△5,238	△4,474	△8,045
連結合計	807	981	1,997	5,461

(億円)



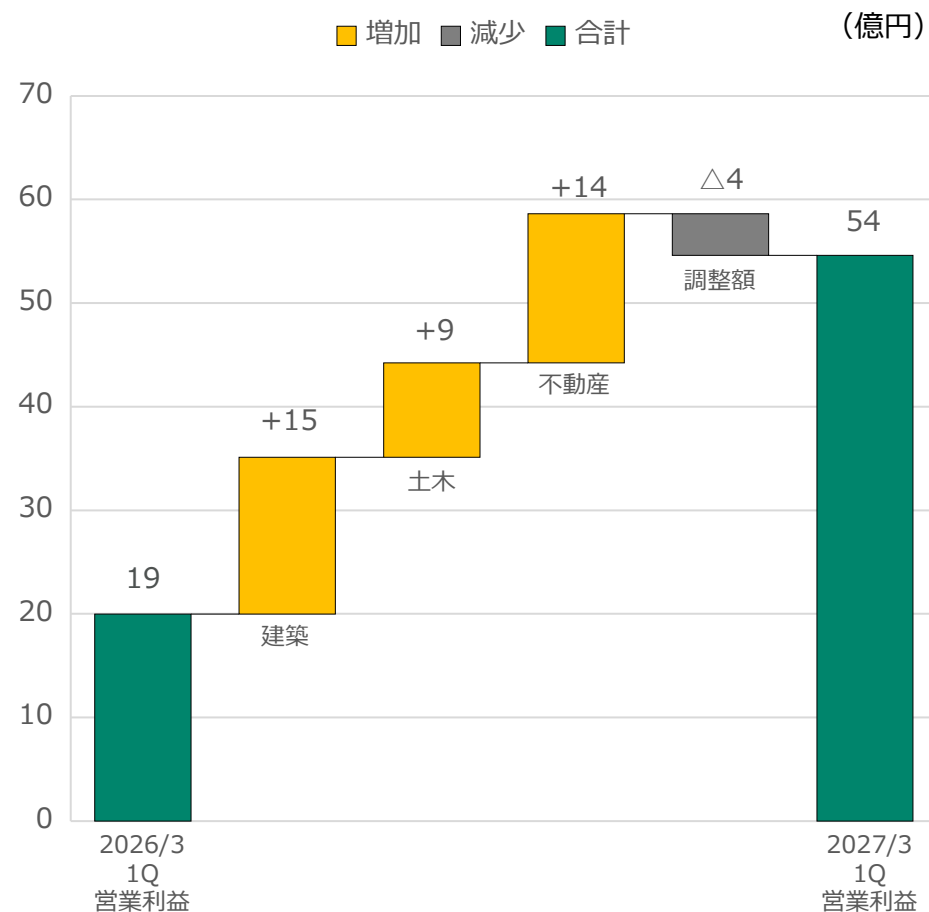
※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

セグメント別 営業利益

- ◆ 建築は高松建設、青木あすなろ建設で増加し前年同期比+83.1%と大幅増。土木は東興ジオテックで減少も青木あすなろ建設、みらい建設工業で増加し前年同期比2.5倍と大幅増。不動産はタカマツハウスで増加し前年同期比2.4倍と大幅増。

セグメント別	2024/3 1Q	2025/3 1Q	2026/3 1Q	2027/3 1Q
建築	138	28	1,822	3,336
土木	1,176	904	603	1,515
不動産	821	1,308	1,009	2,447
連結調整	△1,328	△1,259	△1,436	△1,838
連結合計	807	981	1,997	5,461

(百万円)

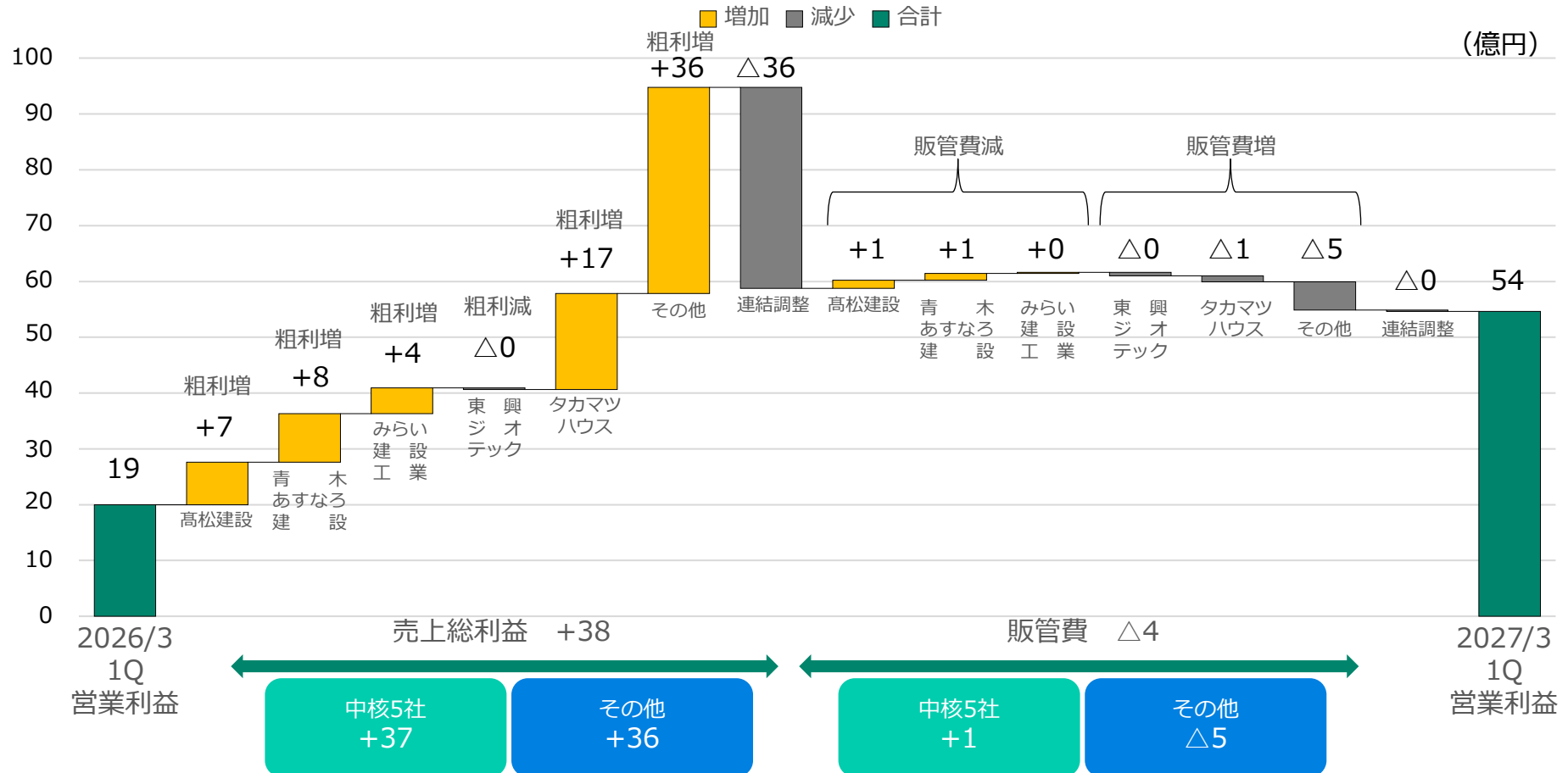


※各セグメントの数値はグループ会社間取引を含む。

売上総利益・販管費 営業利益増減分析

- ◆ 売上総利益は東興ジオテックで減少も高松建設、青木あすなろ建設、みらい建設工業、タカマツハウスで増加し、前年同期比38億円の増加。
- ◆ 販管費は主にその他中核5社以外のグループ会社のうち当社高松コンストラクショングループ、高松都市開発で増加し、前年同期比4億円の増加。
- ◆ 営業利益は連結で前年同期比34億円の大幅増となった。

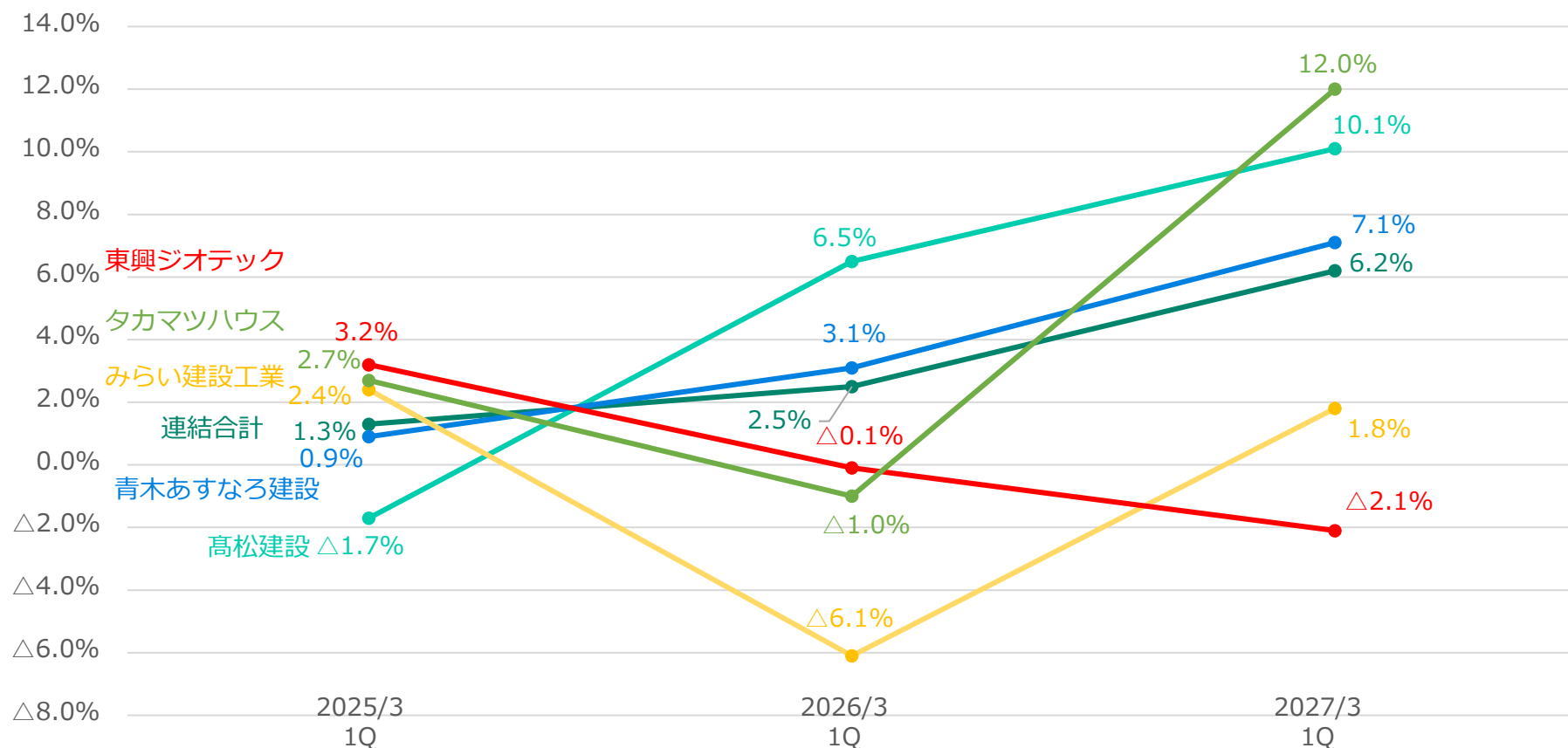
営業利益増減分析



※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

連結合計と中核5社の営業利益率

- ◆ 高松建設は売上総利益率の上昇、販管費の減少により前年同期比+3.6ptと大幅に上昇。
- ◆ 青木あすなろ建設は売上総利益率の上昇、販管費の減少により前年同期比+4.0ptと大幅に上昇。
- ◆ みらい建設工業は前年同期の営業赤字から回復し前年同期比+7.9ptと大幅に上昇。
- ◆ 東興ジオテックは営業赤字により前年同期比△2.0ptと大幅に低下。
- ◆ タカマツハウスは前年同期の営業赤字から回復し前年同期比+13.0ptと大幅に上昇。
- ◆ 連結合計で前年同期比+3.7ptと大幅に上昇した。

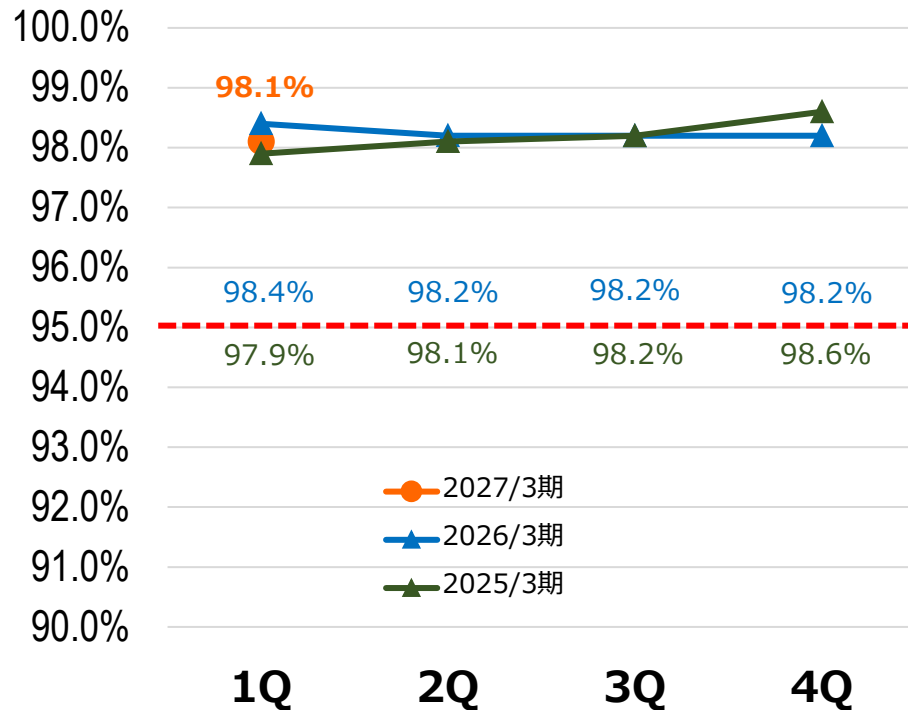


※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

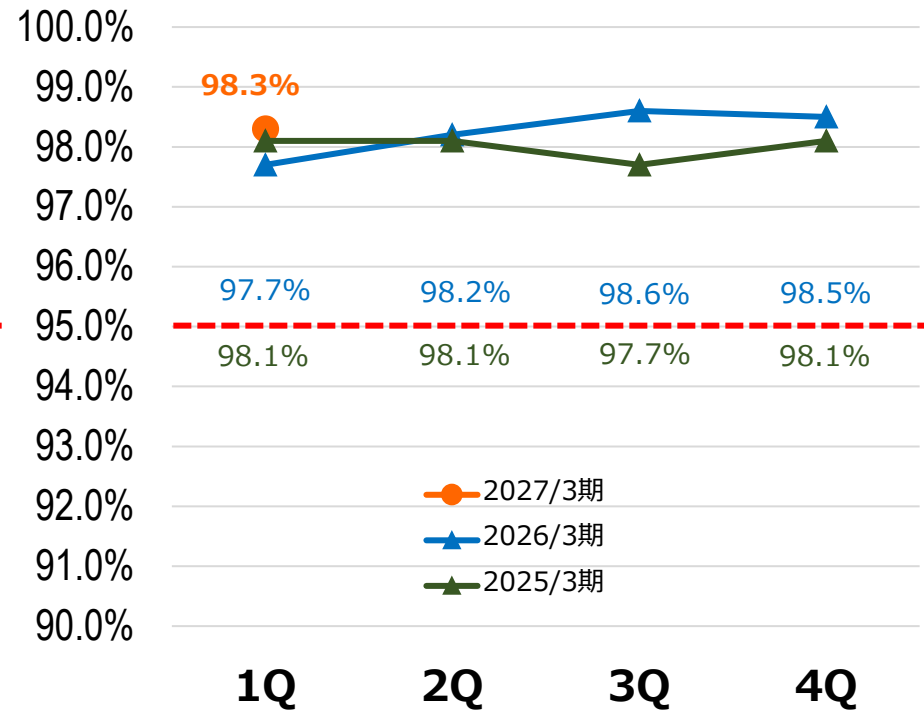
高松エステートにおける高松建設施工物件の入居率

◆ 入居率は27年3月期第1四半期も95%以上を維持。

大阪・名古屋



東京



定義：

「大阪・名古屋」＝大阪府、京都府、兵庫県、名古屋市

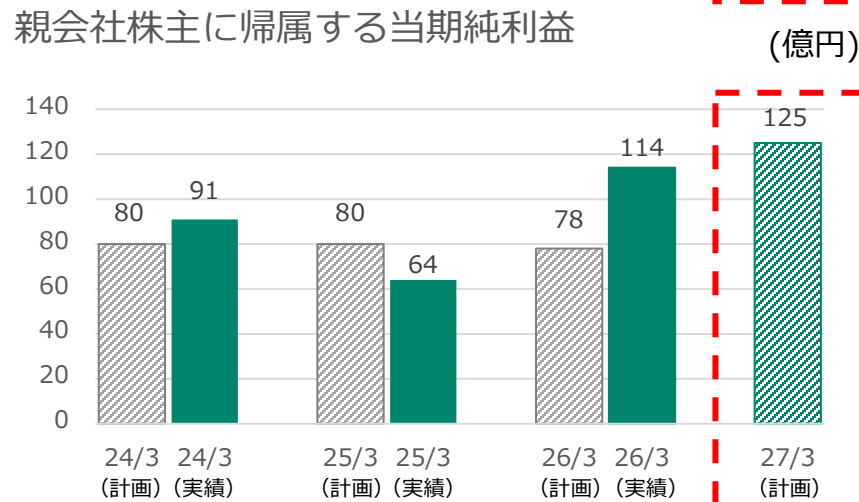
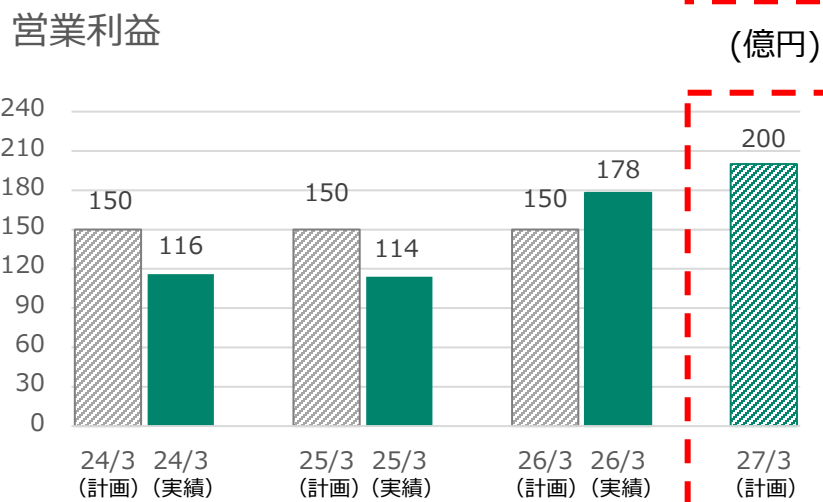
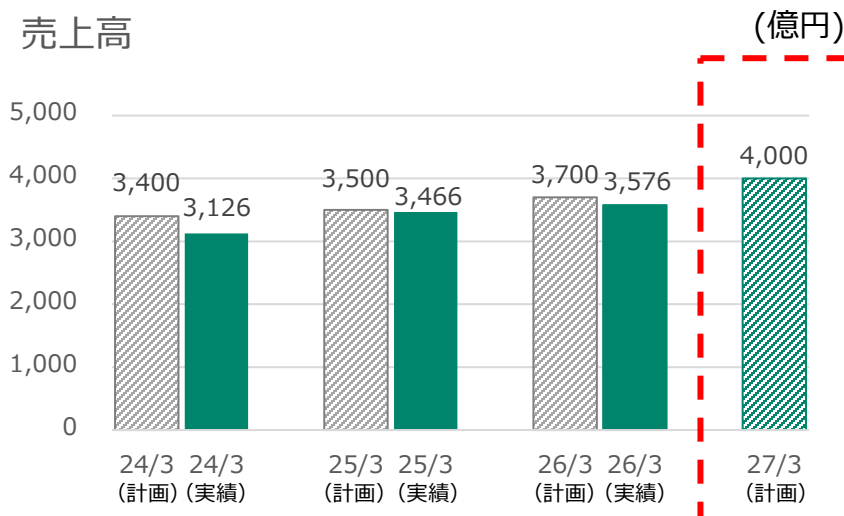
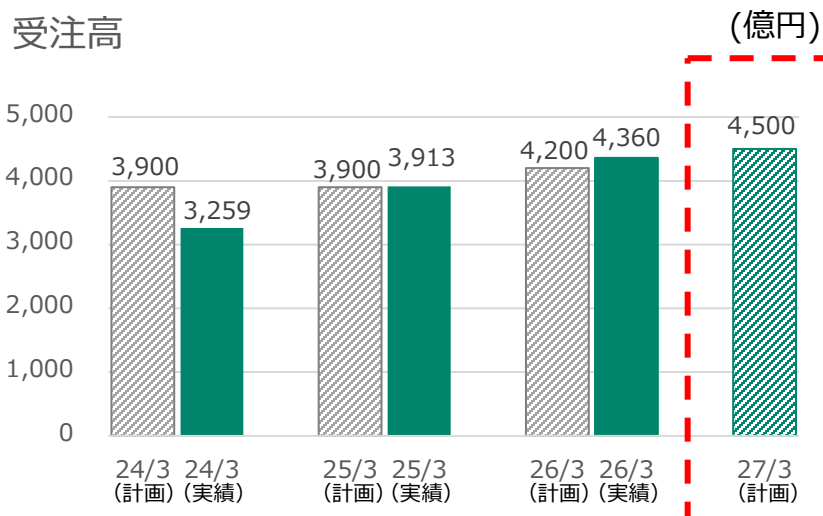
「東京」＝東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県

「入居率」＝各四半期末時点の高松エステートが管理している高松建設施工物件の入居戸数
÷ 各四半期末時点の高松エステートが管理している高松建設施工物件の総戸数

2027年3月期
業績予想・配当予想

2027年3月期 業績予想

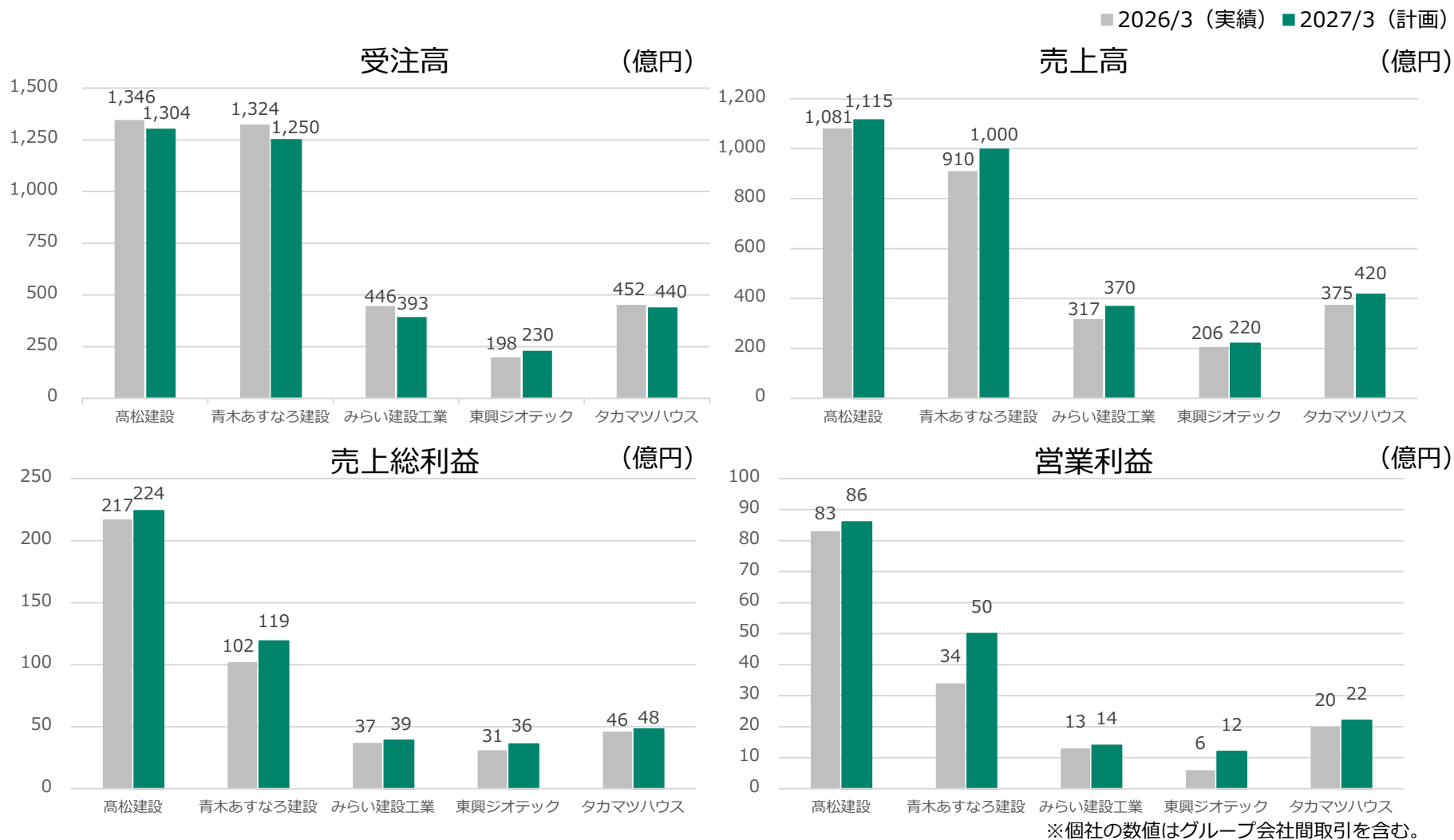
- ◆ 前回（2026年5月13日）公表値から変更なし。
- ◆ なお、本業績予想には直近の中東情勢緊迫化を受けた原油価格高騰などの影響については、現時点で先行きが不透明な状況のため、織り込んでいない。



中核事業会社別2027年3月期経営計画3-1

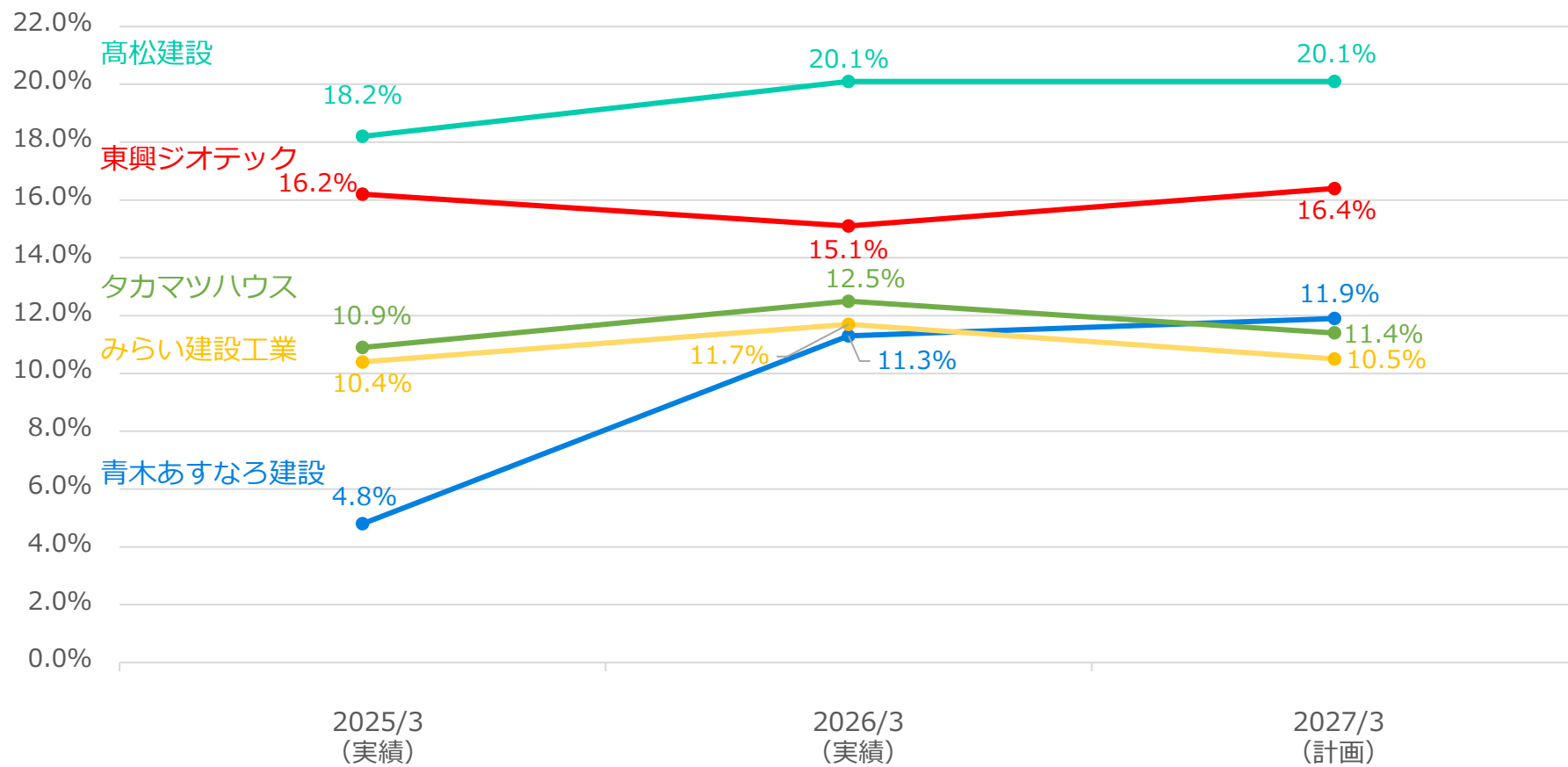
◆ 前回（2026年5月13日）公表値から変更なし。

◆ なお、本計画には直近の中東情勢緊迫化を受けた原油価格高騰などの影響については、現時点で先行きが不透明な状況のため、織り込んでいない。



中核事業会社別2027年3月期経営計画3-2

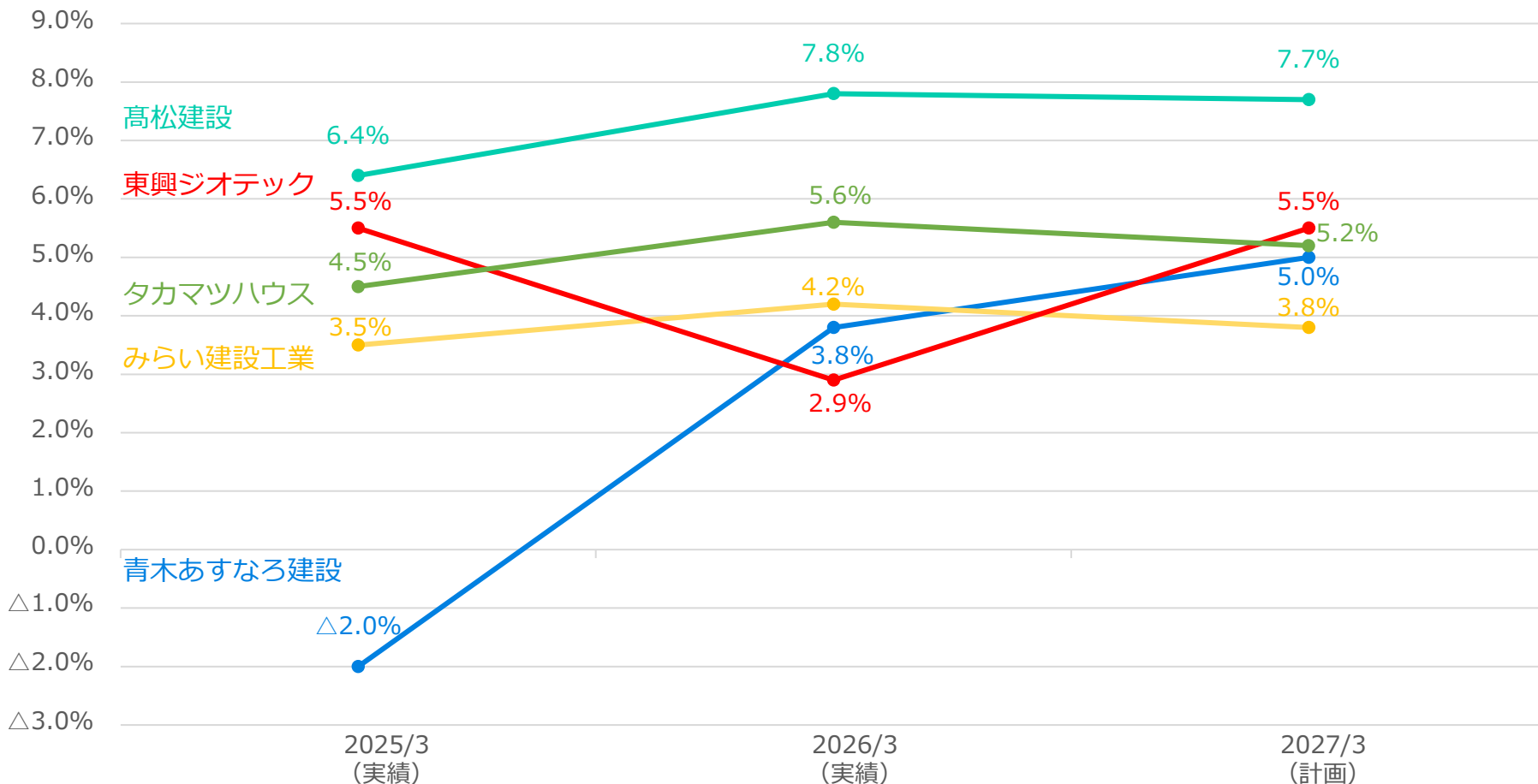
◆ 売上総利益率の2025年3月期および2026年3月期実績と2027年3月期経営計画。



※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

中核事業会社別2027年3月期経営計画3-3

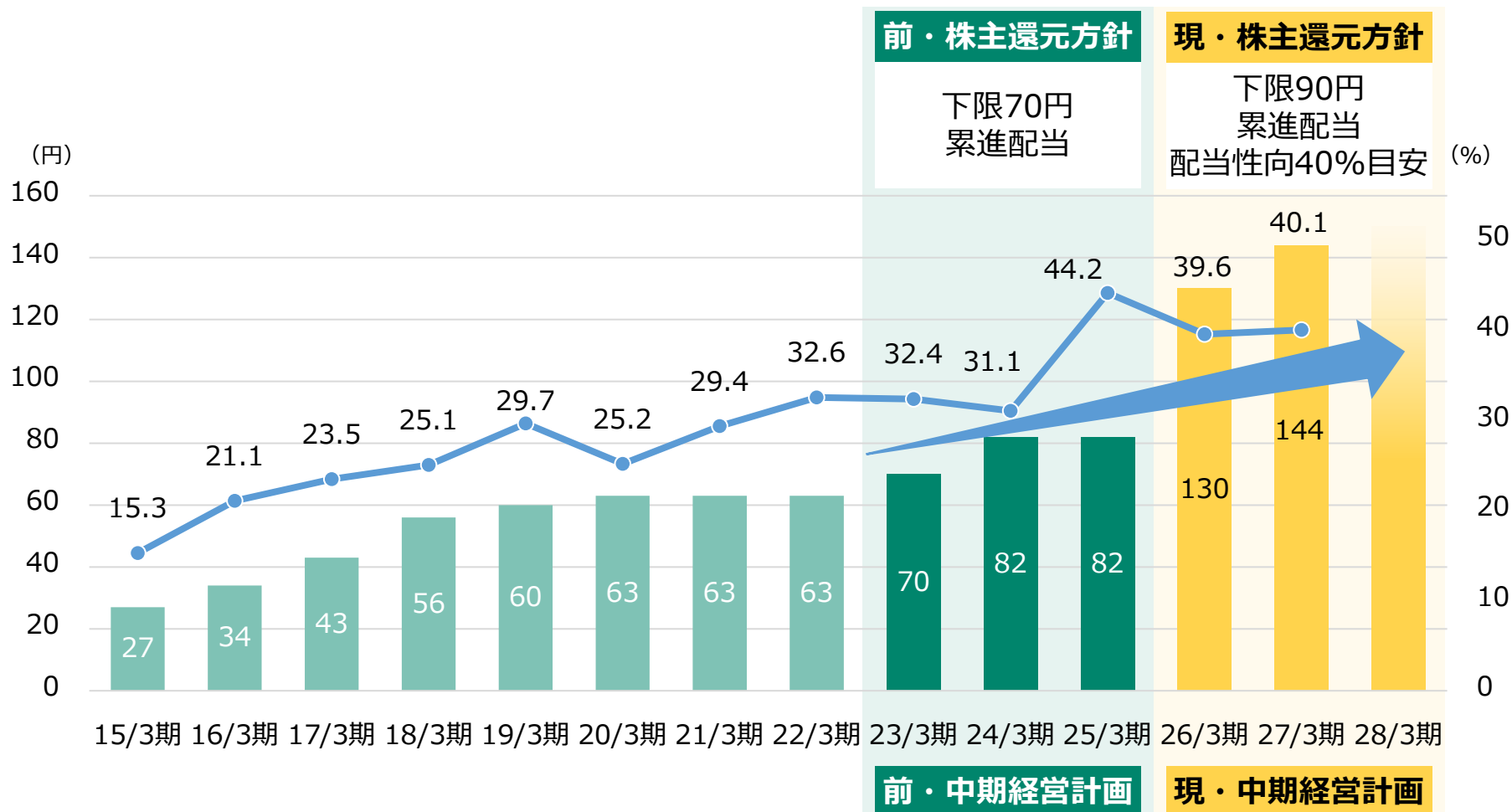
◆ 営業利益率の2025年3月期および2026年3月期実績と2027年3月期経営計画。



※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

2027年3月期 配当予想（配当額・配当性向）

- ◆ 中期経営計画（2026年3月期～2028年3月期）の対象年度においては、**累進配当**を基本方針とし、年間の1株当たり配当金額の**下限を90円**に設定。
- ◆ **配当性向40%を目安**とし、業績に連動した利益還元をおこなう。
- ◆ 2027年3月期の配当金額は1株当たり144円、配当性向は40.1%を予定。



トピックス

◆ タカマツハウス

■ 大型高級リノベーション物件「ミラクラスRe-Style（リスタイル）恵比寿」完成

近年の建築費高騰に伴う新築住宅価格の高騰から、タカマツハウスの強みを活かした好立地でコストパフォーマンスに優れる住宅を提供すべく、新たに「リノベーション再販」の取り組みを開始し、7月には第1号物件が渋谷区恵比寿で竣工いたしました。本物件は意匠設計・リフォーム施工を住之江工芸がおこない、グループシナジーを活かした物件となっております。



住之江工芸

つながる力を、創り出すかに。



タカマツハウス



名称	ミラクラスRe-Style（リスタイル）恵比寿
所在地	東京都渋谷区恵比寿3丁目
アクセス	JR山手線・東京メトロ日比谷線「恵比寿」駅徒歩12分
価格	4億6,900万円（税込）
構造・規模	地下鉄筋コンクリート造1階・地上木造2階建て
土地面積	123.22㎡
建物面積	222.75㎡

つながる力を、創り出す力に。



本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料作成日現在で入手可能な情報にもとづいて作成したものであり、実際の実績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。また、当資料は投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。